

ブログ「中東と石油」:https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943

ブログ Middle East Informant:<https://arehakazu.blogspot.com/>

ホームページ OCIN INITIATIVE:<http://ocininitiative.maeda1.jp/>

ホームページ MY LIBRARY:<http://mylibrary.maeda1.jp/>

マイライブラリーNo.:0543

(注)本稿は 2021 年 9 月 22 日、ブログ「中東と石油」に掲載したものです。

(英語版)

(アラビア語版)

2021.9.26

トルコ/タリバンとのトライアングル外交で注目されるカタール



アフガニスタンでは米国が撤退し、イスラム原理主義組織タリバンが権力を掌握した。米国の撤退はトランプ政権時代の 2020 年 3 月に決まったものである¹。そのタリバンは 2013 年、カタールの首都ドーハに事務所を開設しており²、米国は同事務所と交渉を行った。トランプ政権はタリバンと現行政府が移行政権を結成するのを見とどけ 2021 年末までに平穏に撤収するというシナリオを描いていた。そしてバイデン政権は撤退期限を 911 テロ事件 20 周年前の 8 月末に早めると表明したのであった。

ところがタリバンは破竹の勢いで政府勢力を圧倒、米軍撤退前の 8 月には首都カブール市内に侵攻した。政府軍が総崩れになる中、米国はカブール国際空港を確保し、自国及び NATO 駐留兵力の緊急退去に踏み切った。英独など欧米主要国も輸送機を送り込み、自国民の他、日本を含む外国の外交官及び一般民間人も緊急輸送したのであった。この時多くの外国政府は現地職員とその家族も安全に脱出させるとしたが、タリバンのカブール制圧があまりにも迅速であったため出国希望者のほとんどが取り残された。

混乱状況の中で存在感を示したのがトルコとカタールであった。トルコは NATO 軍の一翼としてアフガニスタンの治安維持に当たっていたが、NATO 諸国の要望を受けカブール空港を引き続き運営することを了承した³。さらに米国はカタールに対してもカブール・ドーハ間の民間航空便を継続するよう働きかけたのであった⁴。トルコは NATO の中で唯一のイスラム国であり、タリバンとの意思疎通が容易である。またカタール航空が運航を続ければ、アフガニスタンに残された外国人、あるいは出国を希望するアフガン人(タリバン政府が自国民の出国を認めるかどうか問題はあがる)の脱出ルートが確保できる。

タリバン側もトルコ軍の残留と空港運営及びカタール航空の運航を両国に働きかけている⁵。彼らはアフ

ガニスタンを完全な鎖国状態にするのではなく、外国との窓口を開いておきたいと言う意図がある。前回1996年から2001年までの第一次タリバン政権では極端な鎖国主義が世界を敵に回す結果になったことを反省したのである。こうしてカタール、トルコ、タリバン(アフガニスタン)3カ国が外交関係のトライアングルを形成した。

実はカタールとトルコの間には浅からぬ因縁がある。2017年のサウジアラビア、エジプト、UAE及びバハレーン4カ国の対カタール断交事件である⁶。カタールがイランと非公式ながら外交関係を保っていること、そして4カ国がテロ組織に指定したムスリム同胞団をカタールが支援している、と言うのが断交の理由である。建国以来の苦境に陥ったカタールが頼ったのがトルコである。防衛面ではトルコ軍の増派を求め、経済面ではトルコからの輸入に切り替えた。こうしてカタールとトルコの関係は深まり、今回のアフガニスタン問題でスムーズな連携が可能となったのである。

さらに両国の背後には米国の強いサポートが見え隠れする。米国とトルコは同じNATO同盟国である。アフガニスタンからの撤退を決めた米国としては後事を託することができるのはトルコだけである。ロシアからミサイルシステムを導入するなど米国にとって現在のトルコは全面的に信頼できないが、背に腹は代えられない⁷。一方、米国とカタールの関係を見ると、カタールには中東最大のウデイド米軍基地がある。今回のアフガン撤退でも多数の軍用機がカブールとウデイド基地を往復している。中東撤退後もイランをけん制するためにカタールの米空軍基地はバハレーンの米海軍基地と並んで重要である。



カブールの大使館を閉鎖した西欧諸国はカタールのドーハに臨時大使館を開設した。日本もカブールからイスタンブールに退避していた大使館をドーハに移し、本省から元駐サウジアラビア大使を派遣している。またブリンケン米務長官のほかドイツのマース外相、ラーブ英国外相などが相次いでカタールを訪問、マクロン仏大統領もイラク・サミットでタミム首長と会談するなどカタール詣でが相次いでいる。

アフガニスタンの動向についてカタールから目が離せない。

以上

本件に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

荒葉一也

Arehakazuya1@gmail.com

¹ US, Taliban sign historic deal to withdraw troops
2020/2/29 Kuwait Times

<https://news.kuwaittimes.net/website/us-taliban-sign-historic-deal-to-withdraw-troops/>

² Gulf Times

<http://www.gulf-times.com/qatar/178/details/356681/taliban-%e2%80%98set-to-open-office-in-doha%e2%80%99>

Taliban 'set to open office in Doha'

³ Turkey offers to guard, run Kabul airport after NATO withdrawal

<https://www.dailysabah.com/politics/diplomacy/turkey-offers-to-guard-run-kabul-airport-after-nato-withdrawal>

2021/6/8 Daily Sabah

⁴ US, Qatar and Turkey discuss operation of Kabul airport

<https://www.arabnews.com/node/1924216/middle-east>

2021/9/7 Arab News

⁵ Qatari FM Al-Thani meets Taliban's Akhund in Afghan capital

<https://www.dailysabah.com/world/mid-east/qatari-fm-al-thani-meets-talibans-akhund-in-afghan-capital>

2021/9/12 Daily Sabah

⁶ 「カタール GCC 離脱(Qatarexit)の可能性も：カタールとサウジ国交断絶」(2017年7月)参照

<http://mylibrary.maeda1.jp/0416GccDispute2017July.pdf>

⁷ 「鬼の居ぬ間に：中東の政治的空白に暗躍する国々」(2020年12月)参照

<http://ocininitiative.maeda1.jp/202012PoliticalVacuumInMeJapanese.pdf>